



▲ふるさと綾瀬の街角を写して20年

3月1日～7日、市役所1階市民ホールで広報まちかど特派員写真展を開催し、10人の特派員がおすすめる市内の魅力を取めた写真やコメントなどを展示しました。同特派員制度の20周年を記念して、20年間の活動の軌跡をまとめ、過去の記事「フレッシュレポ」や「さわやかレポ」などを掲載した資料も展示しました。 【馬場 正勝】



▲楽しいひな祭り

3月5日～7日の3日間、深谷大上ふれあいの家でひな祭りが行われ、235体のひな人形などが飾られていました。大上地区社会福祉協議会の有志の皆さんが、子どもたちの健やかな成長を願って、ひな人形の展示や飾り付けを行ったものです。会場には多くの方が来場し、それぞれがひな祭りへの思いを募りながら、楽しいひとときを過ごしているようでした。 【大滝 隆司】



署名記事は広報まちかど特派員から



▲包丁の研ぎ方を学びました

3月8日、中央公民館であやせボランティアセンターによるボランティアサロン「砥石で包丁研ぎ体験」が開催され、市民20人が参加しました。始めに、講師でDIYアドバイザーの藤原育朗さんから、包丁の持ち方から研ぎ方までの基本説明がありました。最初はぎこちない手つきの人もいましたが、皆さんきれいに研ぎ上げ、新聞紙でその切れ味を確かめました。 【福島 順一】



▲長峰の森でシイタケ菌の植菌作業

3月7日、長峰の森でシイタケ菌の植菌作業が行われ、上深谷老人会の会員30人が参加しました。今回は100本の原木に駒の打ち込みと仮伏せを行いました。2年後、本伏せした原木からたくさんのシイタケが収穫できる予定です。 【情報提供・同森管理委員会 刑部好和さん】



▲全国金賞の演奏演技に感動

3月12日、オーエンス文化会館で綾北中学校マーチングバンド部「綾北マーキュリーウィングス」の定期演奏会が開かれ、1100人が来場しました。「Dream」がテーマの子どもたちとのショーや同中学校特別支援学級の生徒たちと手話を取り入れた合唱、全国大会の演目「Savanna」をステージ用にアレンジした演奏演技などが行われると、会場から大きな拍手が湧いていました。同部部長の大竹真珠さんは「3年分の思いや成果を出し切れました」と話してくれました。 【笹山 真琴】



▲春を待つフキノトウ

3月10日、早川地区目久尻川沿いの盛り土からフキノトウが顔を出していました。“仲間”たちと寄り添い、春を待っているようでした。近くの森からはウグイスの鳴き声が聞こえ、小さな春を感じました。 【高橋 元】



▲日本最大級の1250t づりクレーン

3月11日の夜間、(仮称)綾瀬スマートインターチェンジの建設に伴い、下原橋の撤去工事が行われました。つり金具などを含めた橋の重量は約430tで、日本最大級の1250t づり大型クレーンを使った大工事を、古塩市長をはじめ200人を超える人たちが見守りました。 【秋元 謙治】



▲「ダンボールひみつ基地作り」体験活動開催

3月12日、ボーイスカウト綾瀬第1団による幼稚園年長児～小学2年生を対象にした「ダンボールひみつ基地作り」体験活動が開催され、子どもと保護者70人が参加しました。それぞれ大きさや形の違うダンボールを組み合わせて「ひみつ基地」を作り、中に入って遊びました。 【情報提供・市民活動センターあやせ 牛島健吉さん】



▲綾瀬の活性化をみんなで考えよう

3月25日、中央公民館で市民活動センターあやせによる「市民活動交流会」が開催され、市民60人が参加しました。基調講演では県商業流通課の鈴木博明さんが「商店街活性化」や「まちの元気」について話しました。交流タイムでは綾瀬とんすきメンチなどを食べながら、綾瀬を活性化するアイデアをみんなで考えました。 【情報提供・同センターあやせ 笠間功治さん】

大貫智治くんへ感謝状 火災を早期に通報した功績

昨年12月29日10時59分ごろ、深谷南3丁目で発生した火災について、早期に通報した(周囲へ火災の発生を知らせた行為により、未然に火災の拡大を防止させた)功績を評価し、市消防表彰規程に基づき、消防長から綾瀬小学校4年生、大貫智治くんへ感謝状を贈呈しました。

☎消防総務課 ☎76・2112。

